



## 自立支援連絡協議会報告

### 6月30日定例会 開催

#### 1.情勢報告 今後の改正について

- ・自立生活援助：施設から地域への生活を援助していく。一定期間定期的に巡回。まだ詳細は不明。来年2月位に決定予定。
- ・就労定着支援：就労移行から一般就労へ就職し、一定期間援助していく。
- ・重度訪問介護の訪問先の拡大：今後病院へも支援が可能になる。
- ・高齢障害者の介護保険：65歳まで5年以上一定以上の区分で障害サービスを利用して介護保険に移行した場合1割負担が軽減される予定。
- ・児童発達支援・重度心身障害児で児童発達支援を自宅にて利用できるようになる。
- ・保育所等訪問支援の拡大・・・乳児院・児童養護施設へも可能になる。

○障害者差別相談について 昨年度名古屋市238件 そのうち差別69件でした。

#### 2名古屋市自立支援連絡会について

・今年度発足、6月に第1回開催。年に3回予定。次回10月に開催予定。区で課題検討し、ブロック連絡会から市自立支援連絡会へあげていく流れ。

#### 3.意見交換

当事者の方々や民生委員・いきいき支援センターなどのご出席もいただき差別の問題や地域交流についてなど意見を交わしました。



### 7月13日要援護者の防災を考える会研修 開催

地域の方と事業所との交流のためゲームを通して①災害対応を自らの問題として考え、また、様々な意見や価値観を参加者同士で共有する。災害においては必ずしも正解があるとは限らず、過去の事例が常に正解でない事もある。ゲームを通じ、それぞれの災害対応の場面で臨機応変に考え対応する事、またその為には災害が起こる前から考えておくことが重要であることに気づいてもらう。②地域の住民（特に区政協力委員さんや民生委員さん）に要援護者について理解していただくことを目的に地域住民の方と福祉関係の事業所交流をしていくために開催しました。前回実施したクロソロードを利用し、各グループで楽しく検討しました。



### 6月22日児童の生活を考える会 開催

南区内の児童関係の事業所も20カ所を超えてきました。その内、11事業所と港特別支援学校の参加があり、それぞれの事業所の取り組みや、人気のある活動内容について発表してもらいました。人気のある取り組みは、食事・おやつ作り、買い物、実用性のあるものの工作・創作活動、フィールドビンゴなどの自然遊び、高齢者との交流（一緒に外出する）、また、工場見学、牧場、川遊び、消防署見学、科学館や電気館などへの遠出も人気があるという情報交換もできました。

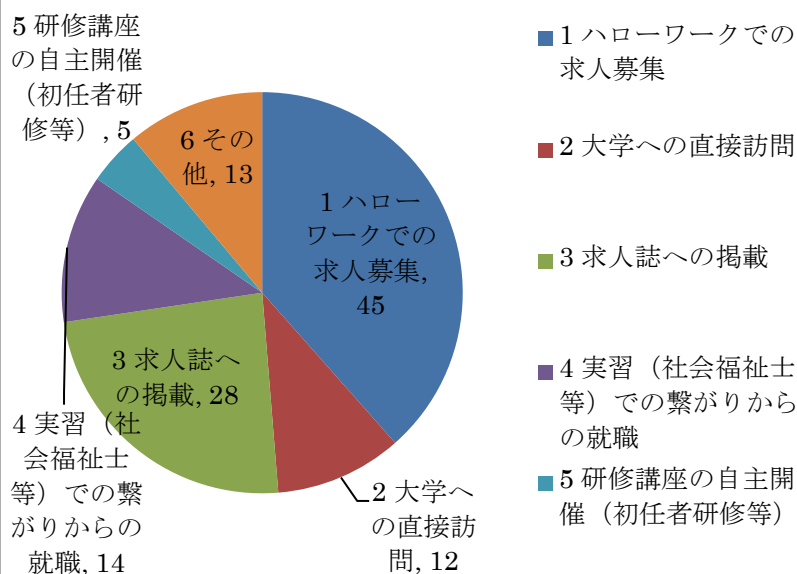
今後はケース検討や相談支援連絡会との交流会などを行い、よりよい支援につなげていきます。

## 福祉関係事業所連絡会 7月19日 開催

昨年各ワーキングから出された課題についてと今年のワーキングの動きなどについての話がありました。また名古屋市自立支援連絡会が今年から動き始め、各区からブロックで集約し、市へ課題があげられることとなります。昨年100近くの課題が全区からだされ、どう整理していくか今後検討される予定です。また情勢報告では、平成30年にむけて今後の流れなど具体的に話がありました。またグループワークでは、人材確保、育成、事業所内の連携について話合いました。また事前に人材についてアンケートを作成し約70事業所から回答をいただきました。ありがとうございました。

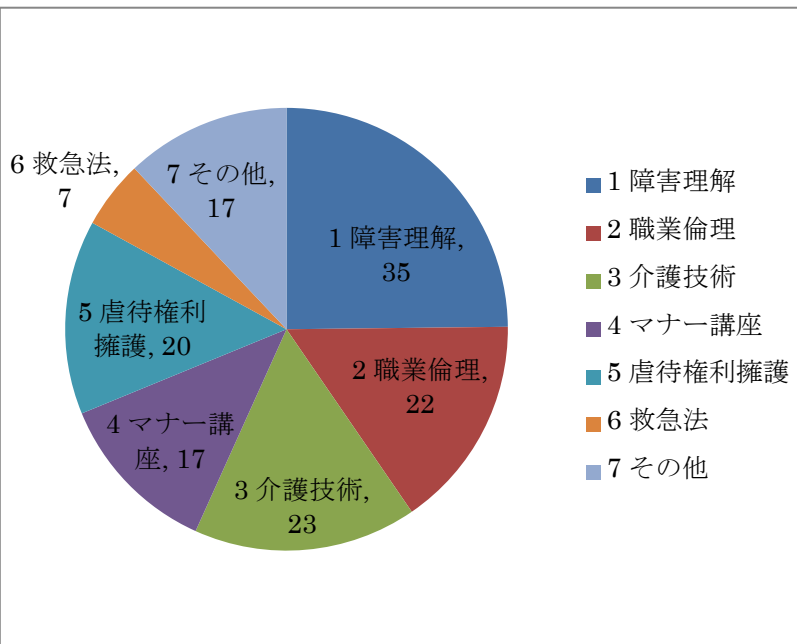
I	人材確保において取り組んでいること	
1	ハローワークでの求人募集	45
2	大学への直接訪問	12
3	求人誌への掲載	28
4	実習(社会福祉士等)での繋がりからの就職	14
5	研修講座の自主開催(初任者研修等)	5
6	その他	13

(職員やパート、アルバイトの方の友人などの紹介3票、ホームページに掲載3票、福祉系大学や専門学校への求人募集または先生に紹介依頼3票、合同会社説明会、福祉人材センターへの登録、ネットの求人サイトに掲載、近隣にチラシ配布、同業他社からの転職時期をみて正規雇用で求人を出す)



III	人材育成において取り組んでいること	
1	障害理解	35
2	職業倫理	22
3	介護技術	23
4	マナー講座	17
5	虐待権利擁護	20
6	救急法	7
7	その他	17

(日々の実践の悩みを聞き、話し合い解決策を共に考える4票、安全運転講習、発達保障学習会、コミュニケーション技術学習会、現場で1つ1つ覚える、思いやり、協力心、助け合い、命を護るという自覚)



人材確保では、福祉分野の人気の無さ、イメージ向上、社会的地位など魅力をどのように発信していくかなど課題がある。人材育成は人材不足で未経験者を採用せざるを得ない、半年~1年で辞めてしまう。知識不足、勤務年数の短さ、新人が相談しやすい体制、関係づくりなど悩みが多く、現場の悩みとしては人材不足でゆとりが無く目の前のことをこなすので精一杯。充実した実践が作れない。適切に利用者への対応ができない。という回答が多く、本来は利用者と共に喜び楽しみたいなどだされました。

## 相談支援連絡会 6月13日、7月11日開催

6月は「乳幼児期における、家族の本人理解をすすめるための支援を考える」というテーマで、ケース検討を行いました。親御さんが我が子の障害の告知を受けても、受容することは非常に難しく、主治医をはじめ医療関係者の方々も、告知についてはかなり気を配ってみえるとのこと。このケースを通して、相談員も支援を勧める際に、お子様自身の幸福を考えることはもちろんのこと、親御さんの気持ちに寄り添って支援をすすめることが非常に大切であるということが改めてわかりました。

7月は南区北部いきいき支援センター分室山田様を講師に迎え、「予防専門型訪問サービス・通所サービス」利用の「状態像の見直し」について学習会を行いました。介護保険は制度の変更が多く、この制度自体は施行されて1年ほどですが、すでに変更されているところがあるとのこと。引き続き、変更があればその都度きちんと確認していくことが大切だと思いました。

## みなみ防災緊急時 SOS カードができました☆

協議会の要援護者の防災を考える会が監修し総務課より発行されました。南区福祉課・総務課・社会協議会・保健所・基幹支援センターで配布します。事業所でもぜひご活用ください。ホームページもご参照ください。



**みなみ防災 緊急時SOSカード**

記入した情報を、消防や警察、搬送先医療機関が緊急医療情報に活用することに同意します。

記入欄: 氏名、生年月日、血液型、住所、身体障害者手帳、介護手帳、精神保健福祉手帳、家族情報、かかりつけ医療機関、おま情報、薬情報、記入日



**基本医療情報**

持病: あり( ) / なし( )

薬剤: アレルギー ( ) / なし( )

食物: アレルギー ( ) / なし( )

抗凝固剤使用: あり( ) / なし( )

**基本医療情報**

既往歴などいつ頃から ( )

伝えたいこと ( )

**避難所をお願いしたいこと**

大勢での生活: できる・苦手 / わずかしい (動きまわることがある・ない) / 大きな声を出すことがあがる・ない

声のかけ方: 正面から / 右側または左側から / 大きな声で・筆談 / ゆっくりはっきり / その他 ( )

苦手なこと: 床での寝起きや座ること / 段差や階段 / 大きな音 / 暗がり / その他 ( )

家族との集合場所・家族と決めている避難所 ( )

その他、避難所をお願いしたいこと (なるべく簡潔に、箇条書きをお願いします)

私の手伝ってほしいこと (なるべく簡潔に、箇条書きをお願いします)



**地震発生時に何もしたらいい？避難行動について**

**揺れた！**

まずは身の安全の確保！

揺れを守り、揺れが収まるまで低い姿勢で、その場にどまる

1. しせいをひくく 2. あたまをまもり 3. じっとする

**揺れが収まったら**

- ケガをしないように靴やスリッパを履く
- ドアや窓を開けて、出入口を確保する
- ラジオやスマートフォンなどから正しい情報を入力する
- 非常持ち出し品を準備する
- 火が出たら速やかに消火する
- ガスの元栓をしめる、ブレーカーを落とす

**安全な場所へ避難する**

(大)津波警報が発令された → 高台や津波避難ビルなどできるだけ高い所へ避難

火災が迫ってきた → 公園などできるだけ広い場所へ一時的に避難

危険が無かったら → 自宅の状況を確認

自宅が住める場合は → 在宅避難

自宅が住めない場合は → 指定避難所へ

**災害用伝言ダイヤル「171」の活用**

電話がつながりにくい場合に、安否確認や連絡などに利用できます

伝言の録音方法: 171にダイヤル → カイダンスが流れます → 録音の場合 [1] → カイダンスが流れます

伝言の再生方法: 171にダイヤル → カイダンスが流れます → 再生の場合 [2] → カイダンスが流れます

## 今後の研修・イベント予定

- 9月17日(日) 大同特殊鋼運動会 大同特殊鋼 運動場
- ※参加希望者は基幹 鈴木までご連絡ください
- 10月22日(日) さわやかウォーク 大江川緑地
- 今後お知らせします。
- 9月21日(木) 発達障害研修会 大会議室 10:00~12:30
- 10月24日(火) 高齢研修 場所は未定 13:00~15:30

